

日本の文化と働き方

動画リンク: <https://youtu.be/ug-HBHpq1BI>

今回は「日本の文化と働き方」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■私のこと

はじめまして。私は中村健一です。30歳で東京都に住んでいます。普段は製菓業の営業として働いており、たくさんの人と話しながら仕事を進めるのが楽しいと感じています。

私は千葉県の田舎町で生まれ育ちましたが、大学進学をきっかけに東京に引っ越しました。大学では経済学を学び、日本の社会や文化について深く考える機会を得ました。趣味は写真を撮ることと旅行です。特に、自然が美しい場所や歴史ある建物を訪れるのが好きで、これまでに京都、奈良、そして北海道を訪れたことがあります。どの場所も素晴らしい魅力があり、特に印象に残っています。もし日本を旅する機会があれば、ぜひ訪れてみてください！

最近外国人の友人ができたことで、私たち日本人には当たり前に見えることが、外国のかたにはとても珍しく感じられることが多いと気づきました。たとえば、電車が時間通りに来ることや、就職活動中の学生がみんな同じスーツを着ていることは、外国人の友人をよく驚かせます。

これから皆さんに日本の文化や日常生活についてもっと知ってもらえるよう、「日本の文化と働き方」についてお話しします。一緒に日本の文化を学びましょう！

■日本人の相づちというコミュニケーション

日本人は、話を聞くときに「うんうん」とか「へえ」と言いながら聞くことが多いです。これは、相づちといい、「ちゃんと聞いてるよ」や「同意しています」というような意味があります。外国の人の中には、これを失礼だとも思いますが、日本ではこれが良いこととされています。また、日本人は、自分の気持ちをストレートに言わないことがよくあります。

例えば、「いいえ」と思っている、「はい」と言うことがあります。そして、「すみません」という言葉を、謝るときだけでなく、ありがとうという意味でも使います。そのため、日本人は話しているとき、相手の気持ちをよく考えながら話します。外国では、知らない人とも簡単におしゃべりを楽しむことができますが、日本ではあまり見知らぬ人に話しかけることはありません。

■断る時に顔の前で手を振る

何かを断るとき、私たちは顔の前で手を振ることがあります。でも、このジェスチャーは海外ではうまく伝わりません。実は、外国ではこれが相手を侮辱する意味になることもあり、使うのは注意が必要です。海外で「NO」と言いたいときは、単に「NO」と言葉で伝えるのが一番です。日本でよく見る「ピースサイン」も、海外のいくつかの国ではよくない意味に取られることがあります。そのため、外国の人がカメラでピースサインをする日本人を見ると、変に思うこともあります。ただ、ピースサインをする日本人に一切悪気はありません。

■笑うとき、口元を隠す

日本では、女性が口を開けて笑うことをさけることが多く、おしゃべりをしているときにも口元を手で隠すことがよくあります。これは、大きく口を開けることは良くないこととされているからです。しかし、外国の人から見たら、口元を隠すのは「何かをかくしている」と思われることがあります。日本人は会話をするとき、相手の目を見て話すことが多いですが、外国の人は口元を見て話すことが多いので、口元を隠すと「心を閉ざしている」と感じられるかもしれません。

■呼ぶときに肩に触れる

日本では、誰かを呼ぶときに声が届かない場合、その人の肩を軽くトントンと叩くことがあります。しかし、海外では人の体に触れるのを良いとされないことが多いので、肩を軽くトントンと叩かれて呼ばれることを不快に感じる人もいます。

■日本の交通機関では静かにしましょう

海外では電車やバスなどの交通機関内で電話することは当たり前という国が多いです。しかし、日本では電車やバスで電話することは原則禁止で、大声で会話することもよくありません。大きな声を出したりして騒がしくしないように注意しましょう。電話で話すことをしなくても、電車の中では着信音が鳴るだけで皆が驚いてしまいます。電車に乗るときはマナーモードにしておくことをおすすめします。電車やバスを利用するときは周りの人に迷惑をかけないように、できるだけ静かにしましょう。

■日本の電車はとても人が多い

日本の都市部では、朝の通勤時間や花火大会のようなイベントのときに、電車がすごく混み合います。とてもたくさんの人が電車に乗るため、電車の中で動くことができないくらいに混雑することがあります。こんなに電車が混むのは、他の国ではあまり経験できないことなので、日本を訪れる外国人は驚くかもしれません。

■日本における電車の駅メロディー

日本の駅では、電車が来るときや発車するときに、その駅だけの特別なメロディーが流れます。例えば、高田馬場駅では「鉄腕アトム」の曲が流れます。東京ディズニーリゾートの最寄駅である舞浜駅では、ディズニーの「It's a small world」の曲が流れます。藤子・F・不二雄ミュージアムの最寄駅の登戸駅では「ドラえもののうた」が流れます。駅によって違う曲を聞くのは、外国の人にとって新しい楽しい体験になると思います。

■日本における電車や地下鉄の到着時間

日本の電車や地下鉄は、時間にとっても正確で、遅れることがほとんどありません。例えば混んでいる時間でも、予定通りに運行されることが多いです。実際に、出発時間よりも少し早く出発してしまったことで、鉄道会社が謝るニュースがあったくらいです。このような出来事は、海外で大きな話題になりました。他の国では、電車や地下鉄が時間通りに来ることが珍しいため、日本の電車の正確さに感動する人もいます。日本の交通機関の時間の正確さは、世界中から評価されている特徴の一つです。

■日本では車のクラクションをあまり聞かない
海外では車のクラクションをよく聞きますが、日本では海外ほどクラクションを聞きません。日本人は相手を尊重したり、迷惑をかけたくないと思っている人が多いので、普段はクラクションをあまり鳴らしません。

■車はバックで駐車する
他の国では、車を駐車するときに前向きに停めることが多いです。でも、日本では車をバックで駐車する人がたくさんいます。これは、前向きに停めたときよりも、バックで停めたほうが事故が少なくなるという交通データがあるからです。また、車の前輪が動くから、バックで停めたほうが実は簡単だという理由もあります。最初は難しいかもしれませんが、日本で車を運転するなら、バック駐車を試してみてください。

■日本では車が来なくても赤信号なら渡らずに待つ
日本では、信号を守ることが非常に大切だと考えられています。たとえ周りに車が全くない状況でも、多くの日本人は赤信号を無視せず、青信号になるのをきちんと待ちます。これは「ルールを守るとは当たり前」という考えかたが根付いているからです。特に、近くに子供がいる場合、大人たちは模範を示すため、赤信号を無視しないように気をつけます。自分の子供でなくても、周囲の子供に「ルールを守ることの大切さ」を伝えたいという気持ちが働くのです。日本では信号を守るとは、社会全体で安全と秩序を保つための重要な習慣なのです。この姿勢は、日本の「みんなでルールを守ろう」という文化を象徴する一例と言えるでしょう。

■日本では形式に決まりの多いビジネスメール
日本のビジネスメールは、決まった形式のような文章が多く、面倒に感じる人もいるかもしれません。基本的な書きかたはテンプレートを参考にできますが、敬語の使いかたなどは覚えておいて損はないでしょう。

■日本の飲み会

日本では、仕事が終わったあとにみんなで飲み会に行くことがよくあります。「飲み会」とは、みなでお酒を飲んだり食事をしたりすることです。

しかし、外国の人から見ると「なぜ仕事の人とプライベートな時間にも会うの？」と思うかもしれません。確かに、日本人の中にも最近では「飲み会に行きたくない」という人が増えてきています。

特に仕事の人とする飲み会で気を付けたいのが「お酌」の習慣です。簡単にいうとお酌とは、年齢や立場が下である人が自分より偉い人にお酒を注ぐことです。最近ではあまり気にする必要はありませんが、外国人であるあなたがこれを知っていれば相手に喜ばれるはずです。

飲み会のときに「無礼講」という言葉を聞くかもしれません。これは、年齢や立場に関係なく対等な関係でお酒を楽しく飲もうという意味です。ですが、その言葉を信じて怒られる場合もあるので、偉い人が言う「無礼講」には騙されないように注意してください。

■解雇や退職

日本の会社では、誰かをクビにするとき、法律で30日前に言わなければならないと決まっています。そのため、もしクビになると言われても、まだ30日間は働くことができます。もし会社がルールを守らず、30日前に言わなかったら、その人は30日分の給料をもらうことができます。自分から辞めたいときも、すぐには辞められないことが多いです。次の人に仕事を教えたり、会社が新しい人を見つけたりする時間が必要だからです。だから、会社によっては、辞めたいと思ったら1ヶ月以上前に言ってくださいと決めていることがあります。

■残業

日本では、以前は残業をたくさんする人を「一生懸命な人」と思うことが多かったです。しかし、最近は働く人の健康を大切にしようと、残業を減らす会社が増えていきます。そのため今は「残業したくない」「定時で帰りたい」と思う人も増えてきています。定時というのは日本の場合 午前9時から午後6時のことをいいます。

■日本人はクリスマスも普通に仕事をします
多くの海外の人にとってクリスマスは日本の正月のような行事かもしれません。
しかし、日本ではクリスマスは祝日ではありませんし、みんな普通に働いています。
ですので、お店や役所関係も普通に営業しています。

■就職活動をするほぼすべての人が同じスーツを着ます
10月～3月にかけて、大学生は就職活動を行います。就職活動は日本では主に
「就活」と呼ばれています。就職活動とは自分に合う仕事を見つけるための活動
です。日本では、10月～3月にかけて、大学生の就職活動が始まりますが、
このときほとんどの日本人大学生が同じスーツを着ます。そのため、街では同じ
スーツを着た大学生をたくさんみかけることがあります。

■日本の判子文化
国内で仕事や契約、役所などで何かの手続きを行うとき、ほぼ必須なのが「判子」
です。日本人にとっては日常的な光景ですが、サイン文化の国から来日した人は
驚くと思います。
判子屋さんのなかには、海外の人向けに、名前に漢字を当てて、判子を作ってく
れるサービスを提供しているお店もあります。あなたも日本を訪れたら自分の判子
を作ってみてはいかがでしょうか？
自分の名前の漢字をみるたびに、日本を思い出すのも良い楽しみかたかもしれ
ませんね。

「日本の文化と働き方」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

